

令和 7 年度地域枠医師の指定医療機関への派遣方針(案)

1 地域枠医師の派遣方針について

国が定めた地域枠の定義では、地域枠の従事要件の 9 年間のうち、4 年間は、「医師の確保を特に図るべき区域等の医療機関」となっている。

地域枠医師は、「地域枠医師の指定医療機関への派遣に関する取扱要領（平成 30 年 12 月 19 日沖縄県保健医療部長決定）」に基づき指定医療機関への派遣方針を毎年度更新・作成し、地域医療対策協議会において協議することとされている。

令和 3 年度に改正した沖縄県地域枠キャリア形成プログラムでは、医師確保策の強化を目的として、「離島診療所で 1 年以上勤務した場合は、指定医療機関（へき地）での勤務を要する期間を 4 年から 3 年に短縮する」という義務履行期間の特例（令和 6 年までの間）を行い、これまで延べ 11 名の地域枠医師を離島診療所に派遣した。

また、働き方改革が進む中、離島診療所の医師確保は厳しい状況が続いている。

令和 7 年度の派遣方針については、下記の方針案について、関係者と協議のうえ、キャリア形成プログラムの改正等について検討し、第 2 回地対協にて提案する。

2 令和 7 年度派遣方針策定の考え方

(1) 現状

令和 6 年度の地域枠配置状況では、医師少数スポットに 3 名（伊江、大原、西表西部）の地域枠医師を配置している。

(2) 課題

国においては、医学部臨時定員の削減に取り組んでおり、臨時定員については、都道府県において地域枠医師を医師少数区域への配置など、有効に活用しているかどうか確認しており、令和 6 年 6 月に実施した厚生労働省のヒアリングで、制度の趣旨からもっと多くの地域枠を医師少数スポットへの配置を図るべきとの意見をいただいた。

(3) 方針案

- ・ 離島診療所への配置促進のため、新たなインセンティブを検討する。
- ・ 女性医が増えていることにより、地域枠医師のライフプラン、セカンドキャリアを検討する。

総合診療【県立〇〇病院】キャリアプログラム

内科、外科、救急科、小児科、産婦人科等、豊富な件数（年間1人あたり1,000人以上）と幅広い症例（かぜから心筋梗塞、脳出血まで）を経験し、common disease に紛れてくる危険な疾患を見逃さない力を修得します。3年目は県立病院附属16診療所にて単独診療を行い、実践的な実力を身につけます。

■専門性重視のローテーションモデル

卒後1年目	卒後2年目	卒後3年目	卒後4年目	卒後5年目	卒後6年目	卒後7年目	卒後8年目	卒後9年目	卒後10年目	卒後11年目	卒後12年目	卒後13年目	卒後14年目
臨床研修		専門研修 1年目	専門研修 2年目	専門研修 3年目(※2)	知事が指定 する医療機関	サバシティ領域等研修		知事が指定する医療機関		終了			
琉球大学病院または 県立病院群		県立〇〇病院	県立〇〇病院 連携施設(※1)	県立離島 診療所	県立離島 診療所	学会の今後の動向による							

↑ 専門医試験

2

■早期義務履行重視のローテーションモデル（新規プログラム案）

卒後1年目	卒後2年目	卒後3年目	卒後4年目	卒後5年目	卒後6年目	卒後7年目	卒後8年目	卒後9年目	卒後10年目	卒後11年目	卒後12年目	卒後13年目	卒後14年目
臨床研修		専門研修 1年目	専門研修 2年目	専門研修 3年目(※2)	知事が指定 する医療機関	県内医療機関で勤務			終了				
琉球大学病院または 県立病院群		県立〇〇病院	県立〇〇病院 連携施設(※1)	県立離島 診療所	県立離島 診療所								

↑ 専門医試験

地域枠就業年限